

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

## ★郵政改革の本丸は

### 「出口」改革

皆さん、こんにちは。内閣改造も終わり、十二日から秋の臨時国会が始まりました。郵政改革に関するニュースがたくさん報道されていますが、簡単にポイントをご説明させていただきます。

郵便局では、①郵便、②貯金、③保険の三つの業務を行っています。このうち、貯金と保険は国民の皆さんからお金をお預かりする仕事です。さて、お預かりして、どうしているのでしょうか。そのお金は、複雑な財政の仕組みを通して、かなりの部分が不要な公的事業に費やされているようです。この点が大きな問題なのです。先の国会では、年金制度の中で国民の皆さんからお預かりした保険料がムダ遣いされていることが明らかになりましたが、郵政制度

の中にも、実は同じような問題があるのです。

郵便局が貯金や保険を集めるのは言わば「入口」の仕事、集めたお金を何かに使うのが「出口」の仕事です。郵政改革に必要なのは「出口」の改革であり、「入口」の改革は本質的な問題ではないのです。小泉さんはどうも「入口」改革ばかりを声高に叫んでいますが、「出口」改革こそシツカリやってほしいものです。ここまで読んで頂いてお気づきの方も多いと思いますが、実は郵便業務は「入口」にも「出口」にも直接的には関係のないことです。郵政改革論議、どうも迷走しているようです。

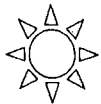
担当大臣は竹中さんです。小泉さんは本質をよく理解していない可能性があります。竹中さんは分かっているはず。上(小泉さん)の間

違いを指摘するのも部下(竹中さん)の仕事だと思いますが・・・。竹中さんは「小泉首相は最高の上司です」と公言してはばかりませんが、何だかゴマすりサラリーマンみたいで、残念ですね。

「出口」のムダ遣いに関与している利権政治家、悪徳官僚を放置したままでは、何の解決にもなりません。竹中さん、シツカリしてくださいよ。



Ohtsuka Kouhei



# 寛王山ツクヅクコーナー



—— 寛王山近辺の名店を続々紹介します！ ——

<今回は、「みたらしだんご つる屋」さんです>

広小路通りから日泰寺参道に入るとすぐ、右手に「みたらしだんご つる屋」さんが見えてきます。

このつる屋さん、創業は大正 13 年という老舗であり、現在の店長である丹羽康子さんは 3 代目、そのお婆ちゃんのお婆ちゃんである「ツル」さんが始めたお店です。

つる屋さんでは、創業当初から焼きそば、お好み焼き、甘酒、おでんなどを手掛けていますが、自慢はなんといってもみたらしだんご。創業以来 80 年間、注ぎ足し注ぎ足し使われてきたタシはまさに秘伝のタシ、その香ばしさは道行く人を引き付けます。

でも、丹羽さんは、「何も食べてもいいからお店で座ってゆっくりしてって！」と明るい笑顔。店長をはじめお店の方の愛情と愛嬌が、このつる屋さんの最大の旨味なのかもしれません。皆様も是非一度お立ち寄り下さい。

つる屋：TEL 751-7413

